

【課題番号】SⅡ-5

【研究課題名】阿蘇をモデル地域とした地域循環共生圏の構築と創造的復興に関する研究

【研究期間】 2019 年度～ 2021 年度

【プロジェクトリーダー（所属機関）】 島谷幸宏（九州大学）

研究の全体概要

熊本県では熊本地震からの復興にあたって、単純な原状復旧ではなく、将来の発展につながる創造的な復興を目指す方針を表明している。環境省では、2018年1月17日に熊本県及び東海大学と、「阿蘇地域の創造的復興に向けた地域循環共生圏の構築に関する協定」を締結し、地域循環共生圏のコンセプトを盛り込んだ創造的復興を検討することとしている。生態系サービスと自然災害の相互作用を明らかにし、生態系サービスを地域の活性化や減災などに活用する復興策を示すことは、創造的復興に貢献するものである。

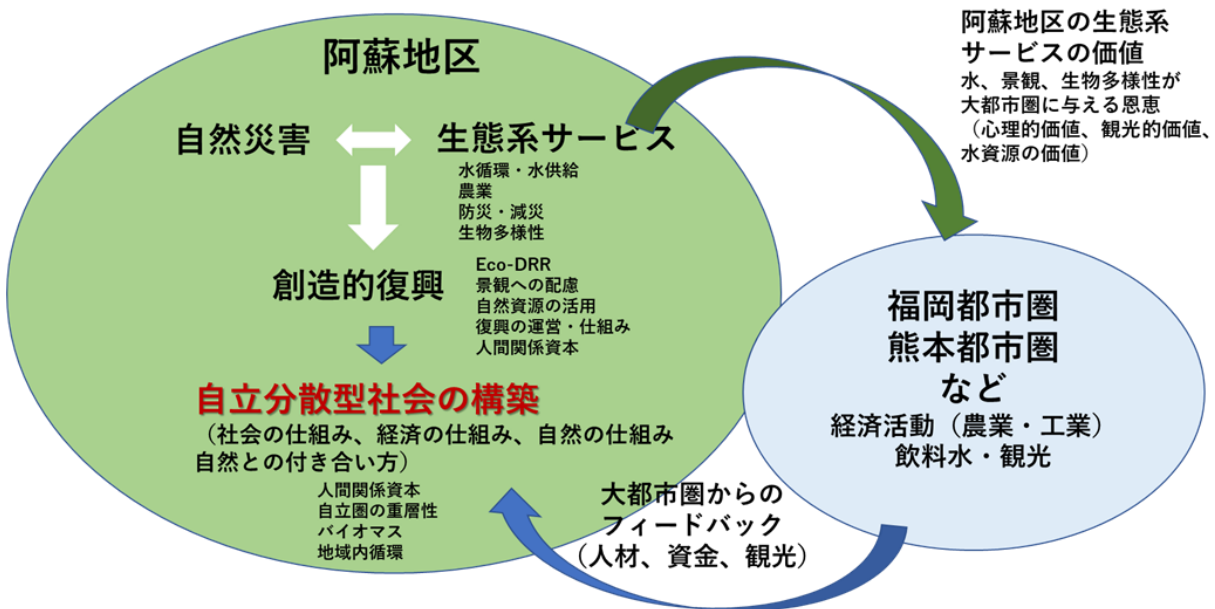
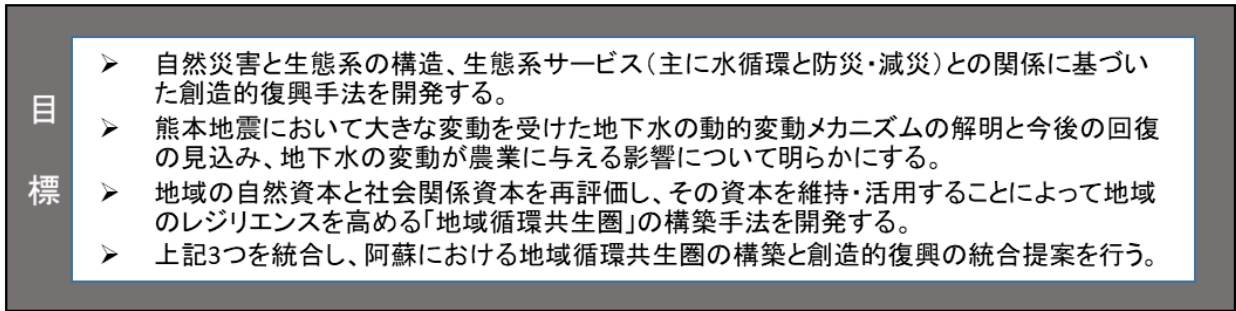
一方で、創造的復興には地域住民の理解と協力が不可欠であるが、災害後の非常時においては早急な復旧が求められ、将来の発展に向けた議論を行うことは二の次となる。創造的復興に向けて、復旧・復興の段階に応じて、地域においてどのような議論を進めるべきかを十分に検討する必要がある。

このため、生態系サービスと自然災害の相互作用を明らかにするとともに、地域住民と自然との関わりを踏まえて生態系サービスを活用した具体的な復興策を地域と一緒に検討するプロセスを明らかにする必要がある。

本研究プロジェクトでは、2012年7月北部九州豪雨と2016年4月熊本地震で大きな被害を受けた阿蘇をモデル地域として、自然災害と生態系の構造・生態系サービスの相互の関係を明らかにし、地域住民と自然との関わりを踏まえて、生態系サービスの活用による暮らしと産業の振興と災害リスクの低減を含む「地域循環共生圏」の視点からの創造的復興のあり方の検討と、その実践にむけた具体的手法の開発を行う。

研究の全体概要図

研究課題名：阿蘇をモデル地域とした地域循環共生圏の構築と創造的復興に関する研究(2019～2021年度)



テーマ1
自然災害と生態系サービスに基づいた創造的復興に関する研究(リーダー 島谷幸宏 九州大学)

① 地域循環共生圏の確立と創造的復興の総合化(サブリーダー 島谷幸宏 九州大学)
② 自然災害と生態系サービスの関係性から見た創造的復興の提案(サブリーダー 皆川朋子 熊本大学)
③ 災害による文化的サービスの変容とマネジメント手法(サブリーダー 樋口明彦 九州大学)

テーマ2
熊本地震による阿蘇カルデラから熊本地域の水純化への影響に関する研究の影響の評価に関する研究(リーダー 市川勉 東海大学)

① 阿蘇カルデラを含む阿蘇・熊本地域における地下水を中心とした水循環モデルの構築と熊本地震の影響の把握(サブリーダー 市川勉 東海大学)
② 地震による阿蘇草原等の土地利用の変化が水循環に及ぼす影響の評価(サブリーダー 岩崎洋一郎 東海大学)
③ 水循環の変化が農業に及ぼす影響の評価(サブリーダー 阿部淳)

テーマ3
自然資本と社会関係資本に着目した地域循環共生圏の重層性に関する研究(リーダー 一ノ瀬友博 慶應義塾大学)

① 阿蘇地域における地域のレジリエンスを高める地域循環共生圏の重層性構築(サブリーダー 一ノ瀬友博 慶應義塾大学)
② 集落レベル、市町村レベルの復興プロセスと社会関係資本に基づく創造的復興手法の提案(サブリーダー 上野真也 熊本大学)
③ 地域が主体となった地産地消型再生可能エネルギー活用と里地・里山再生モデル提示(サブリーダー 原科幸爾 岩手大学)